

# 「メガ・プラットフォーム戦略」と「ナノテク応用」 ～大きな潮流が自動車の生産・開発に与えるインパクト～

九州の主要産業である自動車産業は、プラットフォーム共通化や部品共通化、軽量化に伴う素材の変化やナノテクノロジー等の最新技術の開発・生産現場への応用、また、IoTによるものづくりの変化等、めまぐるしい環境変化に直面しています。九州地域の自動車産業が今後も発展していくためには、これらの環境変化への対応が必要となってきます。

本セミナーでは、自動車産業を巡る世界的な環境変化の動向、特に、地域のサプライヤーにも関係のある世界のサプライチェーンの動向、メガ・プラットフォームやナノテクノロジー等の最新技術の開発・生産現場での応用例等について紹介します。

**※福岡モーターショー2015にあわせての開催です！**

日時 平成27年12月18日(金) 14:00～16:30  
場所 福岡国際会議場 4階 小会議室(401～403)  
(福岡市博多区石城町2-1)  
主催 九州経済産業局  
後援 九州自動車・二輪車産業振興会議  
参加費 無料(セミナー会場には福岡モーターショー2015(有料)に入場せずに無料で行くことが可能です)  
定員 120名(先着順)  
申込 裏面の申込フォームにご記入のうえ、ファックスでお申込みください。  
(締切:平成27年12月15日(火))

## プログラム

※各講演の概要は裏面を参照

### 1. メガ・プラットフォーム戦略とサプライチェーンの変容調査(中間報告)

(1)日欧自動車メーカーのメガ・プラットフォーム戦略とは何か(九州大学 目代様)

(2)ASEAN/メキシコ自動車産業サプライチェーンの動向

(広島修道大学 木村様/東北学院大学 折橋様/九州大学 目代様)

(3)自動車電源48V化とメガ・プラットフォーム戦略への影響(広島市立大学 岩城様)

(4)独インダストリー4.0の動向と自動車産業(山口大学 古川様)

### 2. CFRP材のプレス成形事例 ～金型人材育成事業から～

ものづくりネットワーク九州 代表理事 鈴木様

### 3. 文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業の紹介

物質・材料研究機構 ナノテクノロジープラットフォームセンター センター長 野田様

### 4. 放射光ビームラインの概要と自動車産業への応用例(仮)

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 関西光科学研究所 研究主席 小西様

<お問い合わせ先>九州経済産業局製造産業課(担当:本田、永野)

電話:092-482-5445 FAX:092-482-5538

## プログラム(詳細)

### 14:00 主催者挨拶

九州経済産業局

### 14:05～15:35 メガ・プラットフォーム戦略とサプライチェーンの変容調査(中間報告)

#### 【講師】 科研費調査チーム(山口大学、福岡大学、福岡女子大学、九州大学、広島修道大学、大阪産業大学、近畿大学、広島工業大学、東北学院大学、広島市立大学)

当調査チームは、VW、ルノー・日産、トヨタ、マツダなどが導入しているメガ・プラットフォーム戦略の実態調査に基づき、今後のパワートレイン戦略やグローバル生産戦略、サプライチェーンへの影響について調査・分析を行っている。本セミナーでは、下記の4つのテーマについて、これまでの研究成果の概要を紹介し、今後の動向を展望する。

- (1) 日欧自動車メーカーのメガ・プラットフォーム戦略とは何か (九州大学 目代武史様)
- (2) ASEAN/メキシコ自動車産業サプライチェーンの動向  
(広島修道大学 木村弘様/東北学院大学 折橋伸哉様/九州大学 目代武史様)
- (3) 自動車電源48V化とメガ・プラットフォーム戦略への影響 (広島市立大学 岩城富士大様)
- (4) 独インダストリー4.0の動向と自動車産業 (山口大学 古川澄明様)

### 15:35～15:50 CFRP材のプレス成形事例～金型人材育成事業から～

#### 【講師】ものづくりネットワーク九州 代表理事 鈴木 裕様

(一社)ものづくりネットワーク九州では、今年度、次世代自動車で見込まれる新素材(複合材料、ハイテン材等)に対応できる金型人材の育成に取り組んでいる。今年度、研修の一環として自動車での活用が期待される熱可塑性CFRP材の加工に挑戦。今回は、その結果(CFRP材加工の実例)を紹介する。

### 15:50～16:00 文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業の紹介

#### 【講師】物質・材料研究機構 ナノテクノロジープラットフォームセンター センター長 野田様

「ナノテクノロジープラットフォーム事業」は、ナノテクノロジーに関する最先端の研究設備とその活用のノウハウを有する機関が緊密に連携して、全国的な設備の共用体制を共同で構築するもの。産学官の多様な利用者による設備の共同利用を促進し、自動車産業を含めた産業界や研究現場が有する技術的課題の解決へのアプローチを提供する。今回はその概要を紹介する。

### 16:00～16:30 放射光ビームラインの概要と自動車産業への応用例(仮)

#### 【講師】日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門 関西光科学研究所 研究主席 小西 啓之様

日本原子力研究開発機構は大型放射光施設Spring-8に4本の専用ビームラインを持ち、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業や独自の施設供用制度によって、年間ビームタイムの約30%弱を外部利用者に供している。回折・散乱、X線吸収分光、光電子分光など利用できる装置・手法は多岐にわたる。講演では自動車産業関連の実例(ひずみの測定や疲労耐久性評価等)を含めて、これらビームライン・装置の概要を紹介する。

※受付票は発行しません。定員に達して参加をお断りする場合のみ、御連絡します。

送付状不要

**お申込先:九州経済産業局製造産業課 FAX092-482-5538**

所属(企業/団体名)	
部署	
お名前 (複数記入可)	
電話番号	
メールアドレス*	

\*自然災害等により、やむを得ず急遽中止の御連絡をすることがありますので、メールアドレスのご記入に御協力ください。ご記入いただいた個人情報は、法令等の正当な理由に基づく場合を除き、本セミナーの運営以外には使用しません。